概 況 調 査 票

大谷観音堂のカヤ					No	054
調査日	平成19年04月26日(木)	天 候		主任調査員	須藤 哲	
樹種名	カヤ	学 名	*Torreya nucifera Sieb. et Zucc.*	科 名	イチイ科	
所有者又は管理者	氏 名	大谷観音堂	所在地	海老名市 大谷3497		
	種 別	○1. 公共機関 ◉2. 寺 社 ○3. 企 業 ○4. 個 人 ○5.その他民有				
樹木状況	◉1.単 木 ○2.生 垣 ○3.樹群中 ○4.その他( )					
生育環境の状況	立地場所	○1.庭園・屋敷林 ◉2.寺 社 ○3.街 路 ○4.ビル周辺 ○5.公 園 ○6.その他 ( )				
	周囲の状況	○1.芝 生 ○2.樹 林 ◉3.建物の間 ◉4.道 路 ○5.河 川 ○6.耕 地 ○7.その他 ( )				
	日照条件	◉1. 良 ○2.普 通 ○3.やや不良 ○4.不 良				
	土地の傾斜	◉1.平坦: 0° ー 5° ○2.緩傾: 5° ー15° ○3.中傾:15° ー30° ◉4.急傾:30° ー45° ○5.嶮傾:45° 以上 傾斜方向 ( )				
	土 壌	◉1.自然土 ◉a.堆積土 ○b.崩積土 ○c.削剥土 ○d.その他 ○2.盛土・客土 ○3.切土				
	根元近くの工作物	○1.縁 石(素材等:) ○2.植 桝(素材等:) ◉3.その他(銘板、引き込み柱)				
管理状況	1.柵 ○有 ◉無 [有の場合:a.高さ( )cm b.素材( )] 2.支柱 ○有 ◉無 3.剪定 ○強 ○弱 ◉無 4.定期的剪定 ○有 ◉無 5.施肥 ○有 ◉無 [有の場合: a.回数( ) b.量( ) c.種類( )] 6.薬剤散布 ○有 ◉無 [有の場合: a.回数( )b.種類( )] 7.その他 ( )					
形状寸法	樹 高	20.0 m	幹 周	主幹胸高(1.2m)の周囲長 5.03 m		
	株立本数と周囲長	2 本	① 3.96 ② 3.23 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
	枝下高	4.1 m	枝 張	東 8.3 西 5.5 南 8.2 北 6.3 m		
	樹 齢	420 年	樹齢根拠	推 定		
	根元の状況	○1.裸地 ◉2.草地・地被類 ○3.灌木・低木 ○4.舗装 ( ) ○5.覆土 厚さ( ) cm 土性( ) ○6.その他( )				
特記事項	・しめ縄あり、銘板には霊木「相生の槻」の記載あり ・地被類はリュウノヒゲ、ドクFダミ等 ・南側道路の拡幅時の影響と思われる土砂崩れと根系露出及び根茎切断の痕あり					

外 観 等 調 査 票

大谷観音堂のカヤ						No	054
樹 種	カヤ	調査日	平成19年04月26日(木)	天 候		樹木医	須藤 哲

外 観 調 査

	評 価	0	1	2	3	4	
樹木の活力度	樹 勢	旺盛な生育状況を示し被害が全くみられない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が劣悪で回復の見込みがない	ほとんど枯死	
	樹 形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊している	

被害の状況	被害の有無	○ 無 ◉ 有
	被害の部位	◉ 大枝 ◉ 大枝付け根 ○ 幹 ○ 幹分岐部 ○ 根元 ○ 根系
	被害部の概要 その他	・北側に集中して中枝の枯れが多い ・根茎露出、切断、枯れ
処置	処置の必要性	○ 無 ◉ 有 （ ○ 緊急を要す ◉ 中期的に対応が必要 ○ 長期的には対応が必要 ）
	処置内容	・枯れ枝の除去 ・継続的な観察が必要

名 木 実 態 調 査

樹木の価値	景観性	◉ 遠方からの視認性が高く、シンボルやランドマークとしての価値が高い ○ 周辺樹木と一体となって地域の景観形成に寄与している ○ 周囲から見えにくく、景観的価値は高くない ○ その他（ ）
	地域環境	◉ 緑陰による気温調節効果 ○ 防風効果 ○ 遮音効果 ○ その他（ ）
	生 態	○ 無 ◉ 有（種類: 昆虫類 ） その他特記:
保全実態	保全の主体	◉ 所有者 ○ 自治体 ○ その他（ ）
	助成の有無	◉ 無 ○ 有（内容: ）
	保全の内容	特になし　　指定等: な し
	その他特記	

診 断 ・ 治 療 履 歴

履歴時期		主治医:
治療内容		
主治医メモ		

樹 形 写 真

大谷観音堂のカヤ	No	054

東　面

西　面

南　面

北　面

被害部等詳細写真

大谷観音堂のカヤ	No	054

詳細写真−1	詳細写真−2
・枯れ枝 ・北側に集中して中枝の枯れが多い	・根茎露出、切断、枯れ